

■ 実習

実習「セカンドライブ」

(情報カード型の問題解決&自己理解の促進をめざした実習)

楠本和彦

(南山大学人文学部心理人間学科)

ねらいの例

- ・グループでの活動を通して、グループやコミュニケーションやそれぞれの人に起こっていること（お互いの影響、意思決定の仕方、個人の言動や気持ちなど）に目を向け、気づく。
- ・話し合いをしている時の自分のコミュニケーションや心の動き、また、ストーリーを聴く中で生まれた感じ・気持ち・考えなどから、自分の特徴に気づく。

(学習者のニーズや状況に応じて、ねらいを設定する)

グループサイズ

1 グループ 5名～6名。グループ数はいくつでも可。

所要時間

130～140分

準備物

1. 指示書（資料1） 各自に1枚
2. 課題シート（資料2） 各自に1枚
3. ふりかえり用紙（資料3） 各自に1枚
4. 情報カード（資料4） 各グループに1セット

5. 正解(資料5) 各グループに2~3枚
6. 模造紙,下敷き,マジック (マーカー) のセット 各グループに1セット

会場の設定

移動可能な机と椅子を使用することが望ましい。グルーピング後は,グループのメンバーが机をはさんでお互いに向き合えるように設定する。

手順

1. 導入 ねらいと手順の説明 指示書(資料1)を配布し,ねらいと実習の手順を説明する。
2. グルーピング 何らかの方法でグループ分けを行い,机と椅子のセッティングをする。初対面の場合は,簡潔な自己紹介の時間を設ける。模造紙,下敷き,マジック (マーカー) のセットを各グループに配布する。
3. 課題の導入 課題シート(資料2)を配布し,課題の内容を説明する。
4. 情報カードの配布 情報カード(資料4) 1セット(36枚)を各グループに配布する。情報カードを裏向きにして,メンバーに1枚ずつ順に配布し,各メンバーにはほぼ同じ枚数を配布するように,伝える。

<手順1~4までで,約15分>

5. 課題の実施 <40分>
6. 結果発表・正解発表 結果発表後,正解(資料5)を配布する。<10分>
7. 1回目のふりかえり用紙記入 ふりかえり用紙(資料3)の項目1~4を記入する。<10分>
8. 7で記したことのわかちあい <15分>
9. 2回目のふりかえり用紙記入 ふりかえり用紙の項目5を記入する。
<10~15分>
10. 9で記したことのわかちあい <20~25分>
11. 全体でのわかちあい <10分>

ファシリテーションのポイント

実習「セカンドライブ」は,情報カード型の問題解決実習と自己理解の促進をめざした実習とを融合した実習となっている。ねらいも,①課題に取り組む中での,グループやコミュニケーションや個人レベルでのプロセスに目を向けることに加えて,②ストーリーから触発された自分の感じや気持ちや考えなどから自分の特徴に気づく,という2つがある。

そのため,本実習は,ラボラトリー方式の体験学習の経験に富んだ参加者を対

象としている。または、例えば、2日間の研修の2日目の午後というように、参加者の関係性が深まった場面で使用することが適切である。

導入で、2つのねらいを丁寧に伝え、参加者の理解を促すとともに、指示書を使った説明の際に、ストーリーを聴くことによって、浮かんでくる自分の気持ちや感じや考えに思いを向けておくよう伝えることが肝要である。

時間内に、課題が達成された場合には、ストーリーを確認し、自分の気持ちや感じや考えに思いを向けるよう、個々のグループに言葉がけするとよい。また、時間内に課題が達成されなかったグループがあった場合には、時間を延長し、課題達成ではなく、ストーリーを聴くことによって、浮かんでくる自分の気持ちや感じや考えに思いを向ける時間を確保してもよいだろう。

1回目のわかちあいに入る前に、わかちあい後ふりかえり用紙の項目5を記入するので、項目1～4、特に4に関心をもってわかちあいをするように参加者に伝えることが重要となる。

情報カード型の問題解決実習は、課題達成に参加者の関心が向くため、上記のようなファシリテーションによって、自己理解の促進のねらいをも達成できる可能性が高まると考えられる。

問題解決に向けて、スマートフォン等で語句を調べてもよいかとの質問が、参加者からあることが想定される。本実習の場合、スマートフォン等で語句を調べることは可であると、筆者は考えている。ただ、グループ間で不公平が生じないように、そのような質問があった場合には、その質問への回答を全グループにアナウンスすることが必要となる。

ストーリーをより多様な内容にするために、情報カードを追加・修正することはできる。しかし、原法でも情報カードは36枚あるため、情報カード枚数があまりにも多くなりすぎないように考慮する必要がある。

資料1

実習「セカンドライブ」 指示書

ねらい：

- ・グループでの活動を通して、グループやコミュニケーションやそれぞれの人に起こっていること（お互いの影響、意思決定の仕方、個人の言動や気持ちなど）に目を向け、気づく。
- ・話し合いをしている時の自分のコミュニケーションや心の動き、また、ストーリーを聴く中で生まれた感じ・気持ち・考えなどから、自分の特徴に気づく。

手順：

1. 導入 ねらいと手順の説明
2. 実習の実施
3. 結果発表・正解発表
4. 1回目のふりかえり用紙記入(項目 1~4)
5. 4で記したことのわかちあい
6. 2回目のふりかえり用紙記入(項目 5)
7. 6で記したことのわかちあい
8. 全体でのわかちあい

グループへの指示：

皆さんの課題は、グループとして、ある課題を解決することです。
そのために必要な情報は、皆さんに配られた情報紙の中にすべてあります。

各自が持っている情報は、口頭でのみ伝えあってください。
他の人の情報紙を見たり、自分の情報紙を渡したり、見せたりすることはできません。情報をそのまま書き出して、一覧表にするといいことはしないでください。
図やポイントとなる言葉を書くことはかまいません。

また、情報がつなぎ合わされることによって生まれてくるストーリーを聴くことによって、自分の中に気持ちや感じや考えが浮かんでくるかもしれません。例えば、ある出来事や登場人物の言動について、印象に残ったり、気になったり、自分だったらこう思うだろうな、こうするだろうな等の心の動きです。どんなささいなことでもかまわないので、自分の心の動きに目を向けておいてください。

スタートの合図から 40 分で、作業は打ち切られます。

時間内に課題を達成できた場合には、ストーリーを確認し、ストーリーによって触発される自分の気持ちや感じや考えに思いを向けてください。

資料 2

実習「セカンドライブ」

今日は、高校生の娘、桃子さんが出演する和太鼓チーム「詩音」のセカンドライブの当日です。桃子さんのお父さんは、そのライブをとっても楽しみにしていて、念のため早めに会場入りしようと思っていました。ところが、「詩音」は、大人気のように、開演約 1 時間前にも関わらず、開場待ちで長蛇の列ができています。桃子さんのお父さんも、前売り券を胸のポケットに入れ、その列に並びました。

ようやく会場入りでき、いい席をおさえたと思った時、桃子さんのお父さんの携帯電話が鳴りました。その電話は桃子さんからでした。桃子さんのお父さんは、席を確保しつつ、傘が他のお客さんの邪魔にならないように、席の背もたれと座部との隙間に傘を立て、廊下に出ました。「第 2 部の衣装の下に着る、おそろいの服を家に忘れた」と、桃子さんの弱りきった声が聴こえてきました。桃子さんのお母さんとお兄さんはライブのスタッフをしていますし、弟は図書館で定期テストの勉強中なので、桃子さんが頼むことができるのは、お父さんだけでした。桃子さんのお父さんが時計を見ると、17 時 20 分でした。「わかった。できるだけのことをやってみる」と桃子さんに伝え、電話を切り、桃子さんのお母さんに事情を話しました。

桃子さんのお母さんは、「それは、桃子の部屋のクローゼットの中の衣装ケースの 2 段目か 3 段目にあるはず」と言いました。桃子さんのお父さんは、高速道路を使っても駐車場から自宅まで、片道約 30 分かかるだろうと話しました。桃子さんのお母さんは、「それなら、なんとか間に合うかな？」と首をかしげました。

桃子さんのお父さんは、見つけられるだろうか、見つかっても間に合うだろうかと内心、不安をかかえつつ、会場を出ました。

さて、桃子さん、桃子さん家族、「詩音」セカンドライブの運命はいかに??

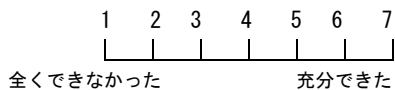
資料3

実習「セカンドライブ」ふりかえり用紙

★まず、1～4までを記入してください。

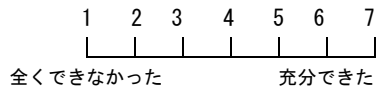
1. あなたはどれ程、自分のアイディアや意見を述べることができましたか。

(どのような点で)



2. あなたはどれ程、他の人のアイディアや意見を聴くことができましたか。

(どのような点で)



3. グループのコミュニケーションやお互いの影響や意思決定などについて感じたことは？

4. この実習のストーリーの中で、あなたが印象に残ったり、関心をもったことはなんですか（出来事、登場人物の言動や心の動きや関係など、どんなことでも）？そのことについて、あなたに生まれた感じや気持ちや考えはどのようなものですか？

★1～4までをわかちあった後に記入してください。

5. グループ活動中の言動や、わかちあいでの発言を通して、自分や他のメンバーの特徴（コミュニケーション、感じ方・考え方など）について、感じたり、気づいたことを記してください。

___ 自 分 ___

資料 4

実習「セカンドライブ」情報カード

桃子さんの忘れ物についてわかること（売っている店、服のタイプなど）を、できるだけ詳しく説明してください。
桃子さんのお父さんは、「詩音」セカンドライブ当日の夕方から夜にかけて、現金を何円使いましたか？
「ジャージーズ」のピンクは誰ですか？
桃子さんのお父さんは、桃子さんのライブを見ようと思い、ライブ会場近くの駐車場に、17 時 00 分に車をとめました。
ライブ会場の近くの駐車場は、入庫後 30 分単位で 100 円という料金設定です。例えば、入庫後 30 分以内であれば、料金は 100 円となります。30 分を越え、60 分以内であれば、100 円の追加料金がかかります。
ライブ会場から自宅の近くまで、高速道路を使うと、片道、750 円かかります。
桃子さんのお父さんが、駐車場に向かっていると、桃子さんの母から、「桃子の忘れ物はユニクロのオリジナル商品で、ユニクロで買ったので、近くにユニクロがあれば、そこで買った方が早く戻れるかも」と電話がありました。
桃子さんのお父さんは、17 時 28 分に駐車場代を硬貨で精算して、すぐさま駐車場を出庫しました。
桃子さんのお父さんが、カーナビで調べると、駐車場から一般道を通って 8 分のところに、「ユニクロ熱田店」があることがわかりました。
カーナビが指示した場所に行くと、そこは「ユニクロ熱田店」ではなく、「でっかいカメラ熱田店」に替わっていました。
「でっかいカメラ熱田店」に替わっていたため、高速道路を使って自宅まで帰るべきか思案しながら、車を走らせていると、約 1 km 先に「ウオンモール熱田店」があるという看板が目に入りました。
桃子さんのお父さんは、桃子さんのお母さんに「ウオンモール熱田店」に「ユニクロ」があるか、電話で尋ね、あることがわかりました。
途中、信号待ちの渋滞箇所があったため、桃子さんのお父さんは少しイライラしましたが、そこからは、有効な迂回路がなかったため、そのままその道を進み、なんとか 17 時 50 分に、「ウオンモール熱田店」の 3 階駐車場に入庫できました。

<p>「ウオンモール熱田店」の駐車場代は,10分単位で100円です。</p>
<p>「ウオンモール熱田店」の駐車場代は,1,000円以上の買い物をして,それを店で証明してもらくと,2時間まで,無料になります。</p>
<p>桃子さんが忘れたものを記した「レーザーバックタイプ,Mサイズ」というメールの文面を,「ユニクロ」の店員に見せて,探してもらいましたが,なかなか見つかりません。</p>
<p>桃子さんのお父さんは,桃子さんのお母さんに電話して,なかなか見つからないことを伝え,なかったら,どうしようかと相談しました。桃子さんのお母さんは,「もし,同じタイプがないなら,別のタイプでもいいから,買ってきてほしい。背中ストラップを細くするため,縫い付ける必要があるから,同じ色の糸も買ってきてほしい」といいました。桃子さんのお父さんは,糸を買う時間,縫う時間がかからないように,忘れ物と同じタイプのものが見つかるように,心の中で,祈りました。</p>
<p>桃子さんのお父さんは,レジで,商品と千円札3枚と駐車場のカードを店員に渡しました。</p>
<p>桃子さんのお父さんは,レジの店員から,袋に入った商品とおつりの900円と証明済みの駐車場のカードを手渡されました。</p>
<p>18時05分に,桃子さんのお父さんは,「ウオンモール熱田店」3階駐車場を出庫しました。</p>
<p>ライブ第1部の途中,舞台のそでに,はけてきた桃子さんは,桃子さんのお母さんから,忘れものと同じものが見つかったことを聴きました。桃子さんは「よかった。これでみんなに迷惑をかけない。本当にありがとう」と涙ぐみました。</p>
<p>会場に戻るため,渋滞箇所のあった往きの道とは別ルートを通り,会場入り口近くの道まで出てきて待っていた桃子さんのお母さんに,桃子さんのお父さんは,18時15分にタンクトップを渡すことができました。</p>
<p>桃子さんのお父さんは,桃子さんのお母さんに買って来た物を渡した2分後に,先にとめていた駐車場に入庫し,入庫4分後に桃子さんのライブを途中から見ることができました。</p>
<p>演奏に感動したためか,忘れ物騒動で焦ったためか,喉が渴いたので,桃子さんのお父さんは,ライブの休憩中に,自販機で,130円の炭酸入りオレンジジュースを買いました。</p>
<p>桃子さんのお父さんは,自販機のジュース代を,事前にチャージしていた電子マネー「ニャオーン」で支払いました。</p>
<p>「詩音」セカンドライブの第2部には,「詩音」の若手メンバー「ジャージーズ」がメインの出演者として出るコーナーがありました。</p>

<p>「ジャージーズ」のメンバーはそれぞれ違う色のジャージを、第2部開始時の衣装の上に羽織っていて、その内の3色は光の3原色でした。</p>
<p>桃子さんは、ライブ開始後、3種の衣装を使い、3度衣装替えをして、ライブを終了しました。</p>
<p>「ジャージーズ」のレッド、ブルーは、「私達がファーストライブに出た後、ジャージーズのメンバーが2人増えて、うれしいです」と、MCで言いました。</p>
<p>「ジャージーズ」のレッド、ブルー、イエローは、「詩音」のメンバーとして、長いキャリアを積んでいます。</p>
<p>なぎささんと亜希子さんが、「ジャージーズ」を代表して、MCを務めました。</p>
<p>桜子さんは、「ジャージーズ」としては一番古株のかすみさんの太鼓の業のすごさを尊敬しています。</p>
<p>桃子さんは、「詩音」の一番新しいメンバーなので、チームに迷惑をかけないように練習を必死にがんばっていることをお父さんは知っていて、桃子さんにできるだけ協力したいと思っていました。</p>
<p>桃子さんのお父さんは、桃子さんが「ジャージーズ」の衣装で出てきた時に、「桃子がピンクというベタでなくて、他の子でよかった」と心の中でつぶやきました。</p>
<p>ライブ終了後、桃子さんのお父さんは、出口付近で観客に挨拶している桃子さんに「ライブ、よかったよ」と握手しました。「ごめんね」という桃子さんに「間に合ってよかった」と言い、第2部の衣装の下に黒のタンクトップを着た桃子さんをしみじみと見つめました。そして、桃子さん、桜子さん、大先輩で「詩音」の創立メンバーの貴子さん3人の、笑顔いっぱいの写真を撮りました。</p>
<p>桃子さんのお父さんは、20時15分に駐車場代を硬貨で精算して、すぐさま駐車場を出庫し、寄り道せず、図書館から帰ってきているはずの次男が待つ自宅への帰路につきました。</p>

資料 5

実習「セカンドライブ」正解

桃子さんの忘れ物：ウニクロで売っている,ウニクロのオリジナル商品のタンクトップ,レーザーバックタイプ,M サイズ,黒

桃子さんのお父さんが、「詩音」セカンドライブ当日の夕方から夜にかけて,現金で使った総額：
2,600 円

「ジャージーズ」のピンクは誰ですか？：桜子

桃子さんの忘れ物	ウニクロで売っている	ウニクロのオリジナル商品のタンクトップ	レーザーバックタイプ, M サイズ	黒	
桃子さんのお父さんが使った現金	1 回目の駐車場代：100 円	タンクトップ代：2,100 円	2 回目の駐車場代：400 円	(高速道路は使っていない。ウオンモール熱田店の駐車場代は無料)	(ジュース代130 円は現金で支払っていない)
ジャージーズのメンバー	グリーン： 桃子	ブルー,レッド： なぎさ,亜希子		イエロー： かすみ	ピンク： 桜子

時間の流れ：

17 時 00 分 桃子さんのお父さんが,1 回目に会場近くの駐車場に入庫する。

(17 時 20 分 桃子さんからの電話)

17 時 28 分 桃子さんのお父さんは,1 回目に駐車場から出庫する。

(17 時 50 分 ウオンモール熱田店の 3 階駐車場に入庫)

(18 時 05 分 ウオンモール熱田店の 3 階駐車場を出庫)

18 時 17 分 桃子さんのお父さんが,2 回目に会場近くの駐車場に入庫する。

20 時 15 分 桃子さんのお父さんは,2 回目に駐車場から出庫する。

ウィキペディアによると：

電子マネー (英: electronic money) とは,情報通信技術を活用した,企業により提供される電子決済サービスのことである。法的に位置づけられた通貨など,いわゆる貨幣そのものではない(2016 年 12 月 16 日検索)。

実習使用規定

ラボラトリー方式の体験学習に関するツールを公開することで、ラボラトリー方式の体験学習が広く普及することを願って、第7号(2008)より「実習」を掲載しております。ここに掲載されている実習は、当センター研究員とその仲間によって開発され、これまでの教育実践で用いられてきたものです。使用の際には以下の留意事項をお守りください。

なお、ラボラトリー方式の体験学習を実施する際には、まずはご自身がラボラトリー方式の体験学習を体験されることをお勧めします。当センターではラボラトリー方式の体験学習を用いた公開講座を開催しております（詳しくは当センターの Web ページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/> をご参照ください）。体験学習のファシリテーションを学んだ上でご使用ください。

実習を使用する際の留意事項

1. 著作権は著者に属します。実習を販売することや、営利目的の発行物などに転載することは禁止します。なお、教育目的での無料の発行物などに転載を希望される場合は、当センター事務局にお問い合わせください。
2. ラボラトリー方式の体験学習として教育・研修などに使用される場合には、各実習の課題シート（実習の指示書）に出典を明記してください。使用の際に当センターや著者に許可を得る必要はありません。また、使用料も発生しません。

【出典の記入例】

出典：大塚弥生（2008）「グループ エントランス」

南山大学人間関係研究センター 人間関係研究, 第 7 号より

3. 課題シート（実習の指示書）をそのまま使用するのではなく、プログラムの実施状況に合わせて適宜修正・変更した上で使用する場合は、「参考」として出典を明記してください。
4. ラボラトリー方式の体験学習で大切にされている教育観（学習者中心の教育、非操作の教育、学習者が自らの人間的成長に取り組む教育）に反する使用は禁止します。たとえば、営利目的で学習者を操作する自己啓発セミナーなどでの使用は一切禁じます。